

＼やります!その⑤／

移住コンシェルジュが移住を後押し!

IJU(移住)促進事業

宮崎市移住センター(平成27年12月開設)に、移住コンシェルジュを配置。市の窓口、住まいや就職支援の窓口と連携し、移住希望者の相談に対応するほか、パンフレットやウェブサイトを通じた情報発信を行います。



宮崎の素晴らしさをアピールしていきましょう。



情報収集にはLINEをよく使っています。



＼やります!その③／

就職やイベントなどの情報をアプリで配信!

宮崎市ワーク・ライフプロモーション事業

成人式のお知らせから、就職やイベント、移住に関する情報まで、若者が求める情報をアプリで配信。大学・高校などの自主活動グループとも協力して、若者の地元定着や人材確保、移住促進などを図ります。



情報収集はスマホが基本

長友さん(以下、長)：私は県外の大学に進学しますが、将来は宮崎に戻って起業したいと思っています。そのためにも、県外に住みながら宮崎の起業に関する情報が得られるとうれしいです。安藤さん(以下、安)：私の高校では、企業の方から仕事の話や聞ける講座を実施しているのですが、とても刺激になりました。こういう機会を増やすことも、情報発信の効果的な方法だと感じます。

市長：とてもいい提案です。ちなみに、みんなはいつもどうやって情報収集をしていますか？ 上山さん(以下、上)：LINEが多いですね。先日、LINEに宮崎市公式アカウントがあるのを知りました。月に3回程程度情報を配信しているとのことですが、毎週末にイベントの告知などもしてくれるのもっと登録者も増えるのではないかと思います。

安：私の周りでも、スマホのアプリで情報収集している人が多いです。何かを伝えるなら、スマホに配信するのは基本だと思います。市長：なるほど。若い世代のライフスタイルに合わせて情報発

信の発信がもっと進めば、耕作していない土地も増えるだろうし、農業をしたい人に移住してもらおうというのではないのでしょうか。長：まずは私たち自身ももっと地元のことを好きになって、自信を持って「住みやすい! 来ないよ!」と言えるようにしたいです。

市長：その通りですね。⑤私たちが、移住を考えている人に向けて、もっと情報を発信しなければなりませんね。身近すぎて「野菜が甘い」とか「花がきれい」といった宮崎の良さを感じにくくなっているのかも。実際、おいしい野菜はいっぱいあるのに、宮崎県の野菜消費量は全国で43番目なんです。一同：そうなんですか!

高校生がもっと地域へ

市長：今、地域の人のつながりが薄れてきているといわれますが、どうすればみんなが助け合っていると思えますか？ 湯：昔はお祭りなど、子どもから高齢者までが参加できるイベントがよくあったと思うのですが、今は少ないと感じます。安：私の地元では、運動会や文化祭を通じてつながりはあるの

信していく必要がありますね。③イベント告知はもちろんです。仕事や企業の情報も、みんなの手元にスムーズに届くような仕組みを整えていきますね。

もっと宮崎を好きになるう

市長：みんなは、どうすればたくさんの方が宮崎を訪れたり、移住してくれたりすると思いますか？ 安：実際に来ていただいたときの、交通の便やアクセスが課題ではないでしょうか。

市長：そうですね。観光地を巡るバスなどは、もっと便利にしたいといけませんね。インフラとしては、WiFi(無線でインターネット)に接続する仕組みも、特に外国人観光客からの要望が多いと聞くので、④外国人向けの対応にも力を入れたいといけませんね。

森光さん(以下、森)：私は海外に行ったとき、宮崎が恋しくて1日で帰りたくなりました(笑)。私在地元のことを大好きだからだと思いますが、一度宮崎を観光したら誰もがきっと宮崎の魅力に気付いてくれると思います。徳：都会には農業をしたい人がいっぱいいると思います。農家

ですが、高齢者が多く、やがて無くなってしまふのではと感じています。若い人がもっと運営に加わっていかないといけないと思います。長：私たちがのように若い世代の提案を大人の皆さんが受け入れてくれることが分ければ、高校生ができることは、いっぱいあると思います。

市長：なるほど。高校生が地元イベントに参加すると活気も出るし、学校もPRになっていいですね。もしかすると、大人が高校生をもっと頼っていたほうがよいのかもしれない。森：私も、今は声が掛からなかったり、ボランティアで参加できることが見つからなかったりしてまだ活動できていないのですが、役に立ちたいという気持ち強いんです。

市長：地域から声掛けをすれば、高校生が参加してくれるかもしれませんね。地元に対して熱意を持ってくれているのはありがたいことだし、高校生にとっても地域のいろんな世代の人と知り合う機会は貴重な経験です。⑥宮崎の活性化には、皆さんのような若い力は不可欠なので、その力を十分に発揮してもらえらるよう、これからも努力していきたいと思っています。

＼やります!その⑥／

「宮崎まちびと大学校」開校!

まちづくり人材育成事業

地域活動に取り組んでいる人やこれから取り組みたい人を対象に、大学校を開校。知識の習得講座や先進地での視察などを通して、地域の課題解決やさまざまな活動のコーディネートができる、まちづくりのリーダーを育成します。



高校生ができることはいっぱいあると思います!

＼やります!その④／

外国人観光客に宮崎をアピール!

外国人誘客みやざきモデル事業

台湾、韓国などの旅行会社が、閑散期に企画した旅行商品を支援し、外国人観光客を増やします。また、外国人観光客に、中心市街地の魅力を感じてもらえるように飲食や買い物で使えるクーポンを発行し、更なる誘客を図ります。



一度宮崎に来てくれればその良さは伝わると思います。